



学校再開しました！

6月1日から給食も始まり、いよいよ学校が再開しました。しかし、休校前とは様子が違い、感染症対策を講じて、毎日を送る必要があります。そもそも学校は、密になりやすいところですので、一つ一つの活動を見直していきました。

検温

熱があるまま登校するということは、ウイルスを保有している可能性があり、登校によりクラスター発生という事態を引き起こします。未然に防ぐためにも、ご家庭での検温をお願いしています。学校でも、校舎に入る前に、確認する体制はとっておりますが、朝、自分で検温する習慣をつけさせて下さい。6月5日は、検温してこなかった子は、30名弱に減りました。ご協力に感謝します。



手洗い

登校して荷物を置いたら、すぐ手洗いを済ませるように分散登校の時から指導してきました。

さらに、日課表の中にも「手洗いタイム」を位置づけました。こまめな手洗いを指導し、習慣づけたいと思います。ご家庭でもお子さんの命を守ることにありますので、手洗いの習慣化にご協力下さい。

教室

「前後左右1mの間隔を保つ」ためにも、全学級で、机の配置を互い違いにしました。可能な限り広げて、低学年はしっかりと間隔をとれています。在籍数の多い高学年は、密になりがちです。それでも、横1m縦も95cmは確保できています。

給食

当番も他の子も手洗いをして、マスク着用です。食器やはしなどは、当番で担当の子のみが触れるようにしています。おかず等のつぎ分けは、できる限り職員が行います。配膳の際は、食べる時は、前向きで、お話をしないことになっていきます。(ランチョンマットも用意していただき、ありがとうございます。)

歯磨き

磨いた後のうがいは、飛び散らないように顔を流しに近づけて、そとはき出す習慣づけをしていきます。他の人への配慮にもなります。歯ブラシの置き方も他と接触しないように

うにします。

図書室・理科室・音楽室

図書室では、並ぶ場所にマークをつけて密にならない工夫をしています。また、荒平先生が、アクリル板を自宅から持参し、カウンターの仕切りをさつと作成しました。(なかなかよくできています。)貸し出した本は、返却後3日間保管します。(ウイルス生存率1〜3日という調査結果をもとにしています。)



登下校

県教委のガイドラインでは、原則マスク着用となっております。1mの間隔をとって一列で、マスク着用を指導しています。しかし、熱中症対策も必要ですので、さらによい方法を検討する予定です。

マスク着用

体育の授業や外遊びでは、マスクを外してよいとされています。ただ、外遊びでも2m以内で人と話す時は、マスクを着用します。もちろん、校舎内では、マスクを着用するようにしています。

消毒

ウイルス生存率が3日間もあることから、放課後は、田畑先生を中心に職員で、ドアノブやスイッチ、机、トイレのレバーや蛇口を消毒しています。私も校内を巡回する際、除菌シートをもつて蛇口やトイレの消毒を行っています。

ここまで、ウイルス対策をお伝えしましたが、本当にやっかいな強敵だと感じています。

これからも、お子さんの命を最優先に考えながら学習内容についてもしつかり保障していくことが学校の役割です。試行錯誤しながらも精一杯取り組んでいきますので、ご協力よろしくお願います。

防犯カメラ設置に向けて

4月に開催された大野支館総会にて、事務局の板倉さんから、地域に防犯カメラの設置を進めたいという提案がありました。子どもたちを犯罪から、交通事故から守るといふ点では、大きな効果があります。

設置場所の第一候補として、校門近くのカーブ（元岱明印刷）です。昨年度は接触事故も起きています。2車線から1車線になる箇所です。しかもカーブになっており見通しが悪い場所です。

2車線だと思って運転していたら、急に狭くなり1車線で離合が厳しくなり、車同士がぶつかりそうになる場面を私も多く見ています。

カメラ設置となると予算が必要となりますので、業者の方に先日見てもらって、どのくらい費用がかかるのかを提案していただくことになりました。実現できるように、地域と学校が連携して取り組みたいと思います。



ひまわりプロジェクト

大野支館の組織に、まちづくり委員会としてひまわり部会があります。ひまわりの種や苗を配付し、花を楽しんでほしいという願いで活動されています。本年度は、大野小でもこのプロジェクトに取り組み

ます。本来であれば、地域に出かけていくところでしたが、休校がありましたので、自宅で育てる



という取組に変更しています。大野小は「太陽っ子」を掲げて取り組んでいますから、ひまわりは、学校の花「校花」とも言えます。ウイルスに負けず、元気に咲くといいですね。

百花繚乱の4〜5月でした。

休校の4〜5月でしたが、実は校内では春の花が咲き乱れていました。あまりにもきれいだったので、紹介します。子どもたちがいなかったため、岡本先生をはじめ職員が手入れを丁寧に行った賜物です。

下のスマイレなどは、どの花も私？（そんなわけないですが…）を見ているかのごとく咲き誇っていました。

